

## 第 62 回 いなべエフエム番組審議会議事録

1. 開催年月日 令和 6 年 10 月 30 日(水)
2. 開催場所 北勢市民会館 視聴覚室
3. 出席者 委員総数 6 名 出席委員数 3名(書面出席委員2名)

### 出席委員の氏名

佐藤 貴志 委員長 辻 忠樹 副委員長  
富田 勲 委員

### 書面出席の委員

市川 久春 委員 藤川 里美 委員

### 欠席委員の氏名

林 敏樹 委員

### 事務局

理事長 弓矢 孝己  
副理事長 武藤 久夫  
事務局長 遠藤 修一郎  
中林 謙太  
浅山 優平

## 4. 審議事項

### 1. 報告事項

### 2. 審議用サンプル番組について

「防災特別番組」

令和 6 年9月1日(日)

出演者:社会福祉法人いなべ市社会福祉協議会

地域福祉課 服部篤史さん

## 5. 議事の経過の概要及び結果

### 事項 1. 報告事項

- ・10周年記念番組等について
- ・雑誌付録としてタイムテーブル掲載の報告
- ・10月の番組表について
- ・パーソナリティの担当曜日等変更について

### 事項 2. 審議用サンプル番組について

委員(代読)

防災の日にふさわしい内容でした。マニュアルももちろん大切ですが、今回は大災害の被災地へ4度も派遣され、苦勞して支援活動を経験された方の、生の声を聴くことができ、とても興味深く、もっと聴きたいと思える放送でした。

外部から現地へ入っていく上での心構えも、さすがで、瓦礫もその方の財産ととらえて踏まないよう気をつけて、1軒1軒回って、聞き取りをしていきニーズに合った対応をされていく様子を聴いて、大変なご苦勞だったろうと頭が下がりました。

普段から物品の備えや避難ルートの確認に加え、助け上手、助けられ上手になれるよう人と人との関係づくりの大切さも再認識できました。

委員(代読)

市の福祉業務を担う社会福祉協議会の被災地での支援などについて、聴かせて頂きました。防災の日に関連した内容となっており、リスナーにも関心が高い企画であると感じました。導入部分から落ち着いた雰囲気の中、担当パーソナリティの優しい口調ではじまりました。出演者の方は、今年の能登半島地震で被災地支援の実体験から様々な苦勞をされたこと、気づいたことについて、聴かせて頂きました。現場の支援に4回も行かれたということで、ご自身の仕事もあり多忙な中での支援活動には頭が下がる思いです。

実体験からの言葉には、非常に重みがあり、丁寧にお話しされていたので、被災者の大変さ、支援する側のコミュニケーションの取り方の困難なところ、色々な気づきが、よく伝わってきました。今後、万が一にも被災した場合の心構えとしても参考になりました。音声については、クリアに聴き取れて、非常に良かったと思います。

委員

意外と震災について、聴きなれないし、実際には自分達は分からない。社会福祉協議会の方が現地を訪問して、体験された事を生の声で聴けて、そうだなと感じた。物資を送ったり持って行ったり等支援方法はあるが、現地での仕組みが分からないので大変なんだなど。上手くお話しをされて納得しました。私も、被災地に行ったこともありますが行っても

すぐに受け入れてもらえない。そういった段取りがないので、自分たちの作ったマニュアル通りにはいかないということですが、お話を聴いて分かりました。今回も、支援に行った方が中々入れないという事がありました。水とか色々持って行ったのですが、皮手袋が欲しいと現地の方に言われました。急遽集めて持っていきました。現地声を聴いてから、本当に必要な物を用意し、動かないといけない。水などはいっぱいあるそうです。本当に欲しいものが届かないということをおっしゃっていました。このお話を聴いて残る言葉がたくさんあって、やはり地域のお隣さんとお付き合いが大事だと。隣の方が誰か分からないという事もあり、つながりが無くなっている。人間としての話し合いが無いので反省しなければなりませんね。いざとなったら助け合いができない。もっと地域の繋がりを大切にしたいです。

#### 委員

この時期にこういった防災特番をやっていただいて、聴くたびに身の引き締まる思いです。防災は重要だなと感じます。今回のお話しは、実体験したからこそ得た気づき、非常に重要な内容だなと感じました。また、全国の社協の支援体制の仕組みも知らなかったのを感じました。実体験と解説があったのですごく分かりやすかったです。被災地に行つて一軒一軒まわって、踏み込んで何が困っていることなのかを把握することが大切。聴き込んだことが次のボランティアの最優先がどこなのかベースになるということで、それが重要だなと感じた。普段からの地域の繋がりが重要だと再認識しました。

#### 委員(代読)

話し手の話し方がすごく聴きやすかった。対象を考えた時に企業の立場、地域の立場、行政の立場、教育の立場があり、色々な方が広く聴けるような内容・中身だったと感じました。より迅速に適切な支援をするためには、どういう準備をするのがいいかという点で気づきがあった。具体的に困っていることが中々引き出せない。何で困っているかが分からない。被災された方は頭が混乱していて、何から手をつけていいのかわからない。だからあらかじめ聞く内容を想定して聞き出すことが学べたと話しており、共感が出来た。体制面については被災地の中で組んでも、被災された方は自分も被災されている方が多い。アクションを起こすにも人命優先となると中々体制を組むことができない。やはり、日常的に災害が起きた場合は、どういう形で支援をしてもらいたいという準備も必要だと感じました。すごく聴きやすく、教材としてもいい内容だったと思います。

#### 委員

この方は何回か出演してされているのですか？

事務局

防災特番へは2回目の出演です。

委員

経験が豊富で、社会福祉協議会の中の立場でも、この方には、被災された方のニーズを聞き出す技術があると感じました。非常に分かりやすく上手に話していていい番組になったなと感じました。

委員

お話しされていた方は、すぐ近くの社会福祉協議会にいらっしゃるのですか。

事務局

はい。弊社があります北勢市民会館のすぐ近くの施設にいらっしゃいます。先程、話し方が上手というお話しがありましたが、防災についての講演会等もおこなっていらっしゃる方なので、人前でお話する機会が多いのかなと思います。

委員

例えば企業に来て講演して頂く事は可能でしょうか。

事務局

ぜひ。喜ばれると思います。

## 6. 審議事項に対してとった措置

次の番組制作会議にて検討予定

## 7. 公表の方法

自社ホームページ

## 8. その他

報告事項なし。

以上